

中国大連市（東華園芸）における菊切花生産



中国大連市（東華園芸）における菊切花生産(2004)



バンガロール市の年間気温および降水量の変化

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最低気温(°C)	15.1	16.6	19.2	21.5	21.2	19.9	19.5	19.4	19.3	19.1	17.2	15.6
最高気温(°C)	27.0	29.6	32.4	33.6	32.7	29.2	27.5	27.4	28.0	27.7	26.6	25.9

インドの切バラ輸出国とその割合

日本	ヨーロッパ	中東諸国	香港	シンガポール
32.90%	36.70%	2.70%	1.40%	1.10%

バラ生産会社の労働者の賃金： 1日50~80ルピー(130~208円)
【月給1,500~2,000ルピー(3,900~5,200円)】

一般のインド人の大卒の初任給が12,000ルピー(31,200円)。



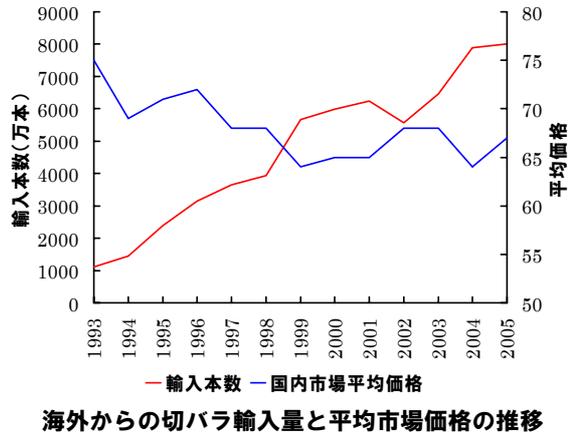
ドバイフラワーセンター(DFC)を経由したケニアのバラの日本への輸入



ケニア、エチオピア、インドから輸出されるバラ



豊富な品種(数の多さ), 素材としての提供



海外からの切バラ輸入量と平均市場価格の推移

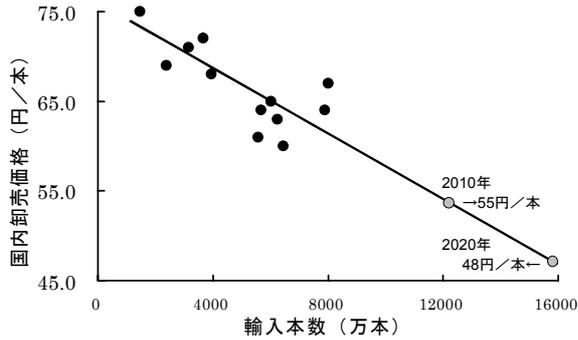


図1 海外からの切バラ輸入量と平均市場価格の推移

バラ輸出国の特長

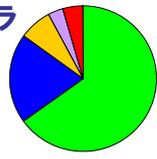
- 国策としての切花生産(外貨獲得)
- 優先的なインフラ整備(充実した道路網、貨物空港の整備)
- 年間一定した気温(熱帯高地)
- 無暖房、軽装備(低額の設備費)
- 広大な生産面積
- 企業資本による切花生産
- 高度な生産技術と製品管理
- 低人件費と多数の労働者：1\$/日



ケニアで生産されるバラ

国際商品としてのバラ

95%がヨーロッパに輸出
(日本は5%に過ぎない)



ヨーロッパで売れるバラ品種を生産

「ヨーロッパで育種」された
高芯剣弁・厚い花弁・花保ち・豊富な花色



バラの消費構造の模式図

特別なバラ愛好家の購入者
ブライダルなどの特殊利用



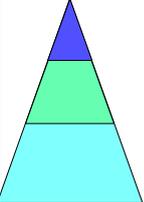
バラ好きの購入者
装飾用途などでの利用



最も普及的なバラの購入者
【高芯剣弁・赤・ピンク・黄】
輸入の切りバラ?



高芯剣弁とは違う花形・柔らかい雰囲気のパラ、香りのパラ
ジャポネスク(Japonesque), アジアの風(Asian Wind)





ケニアで生産されるバラ = 高芯剣弁・厚い花弁・花保ち・豊富な花色
一般的なバラ (国際商品としてのバラ)

輸入バラと異なる土俵で勝負！



輸入バラと異なる土俵で勝負！



輸入バラと異なる土俵で勝負！



日本人は、ヨーロッパのバラ文化を取りあえず受け入れてきた。
 成熟したバラ文化は、独自の文化の創造から始まる！
キーワード：バラらしくない『バラ』
【ジャポネスク (Japonesque) とアジアの風 (East Asian Wind)】

バラの育種の夢

ヨーロッパが作ったバラの文化




千葉大学 上田 善弘 氏より




<http://www.je-shizuoka.ac.jp/nimizu/rose/top.html>

2004年から2005年にヨーロッパのバラ育種会社から発売された赤バラ新品種

新品種でも赤いバラは「赤いバラ」



CoralProphyta Ambassador Bull'sEye Valentine+ Cabernet



RedBerlin EIToro PolePosition Apollo! Celebrity

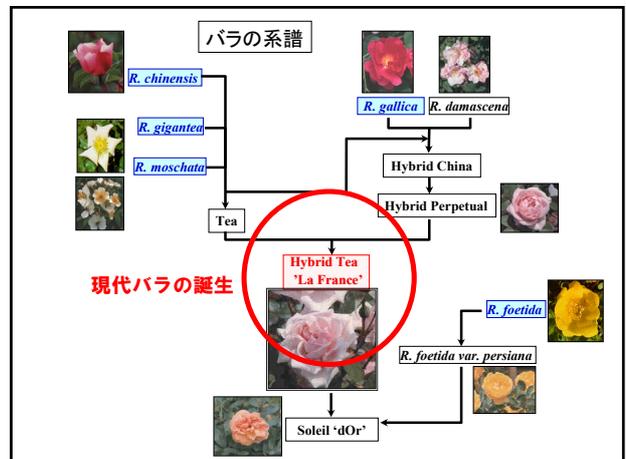
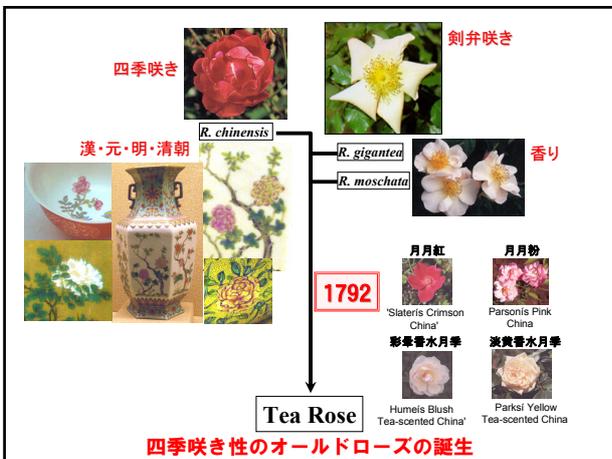
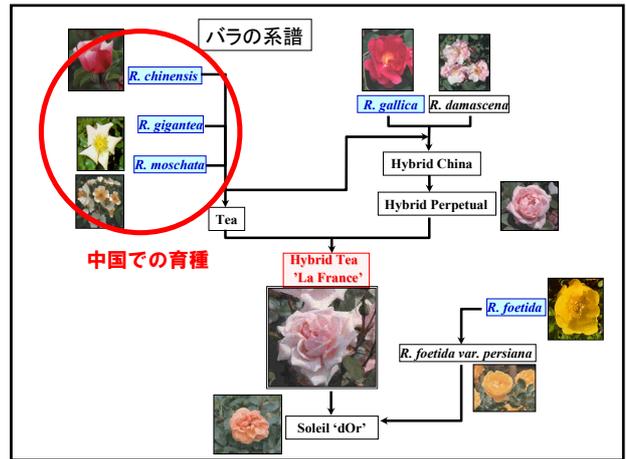
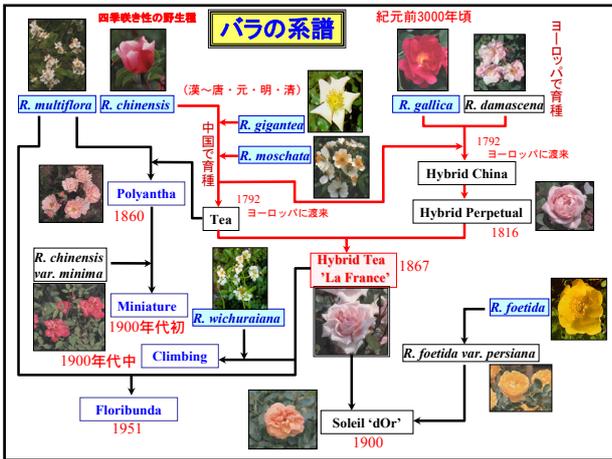
現代バラは育種の限界をむかえている



どこが新しいのかしら？よく判らないわねエ

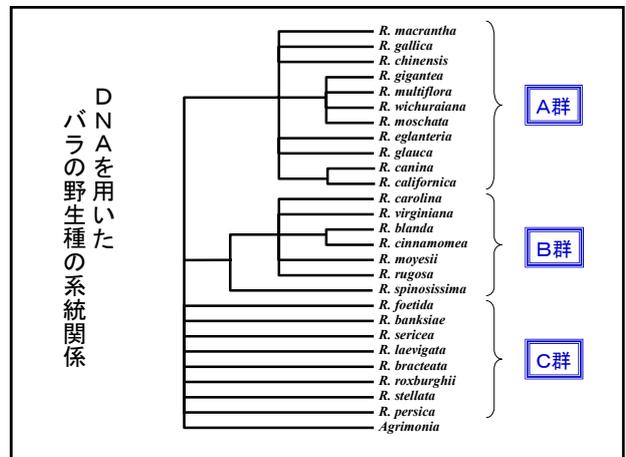
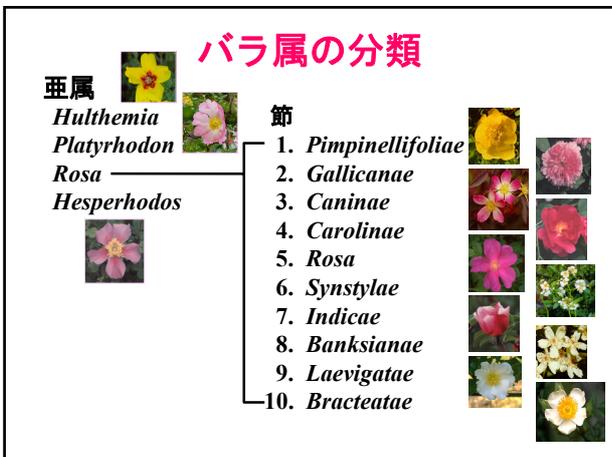
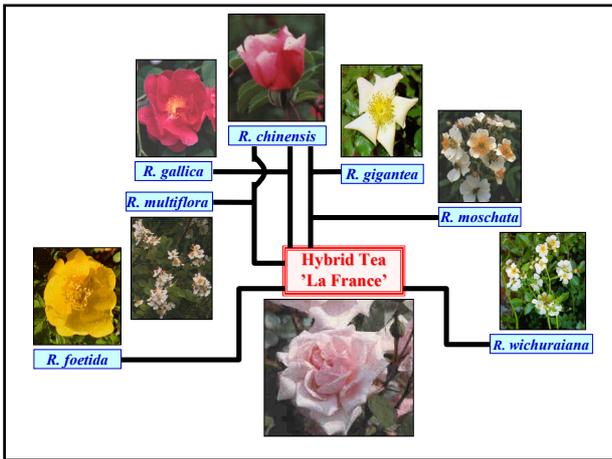
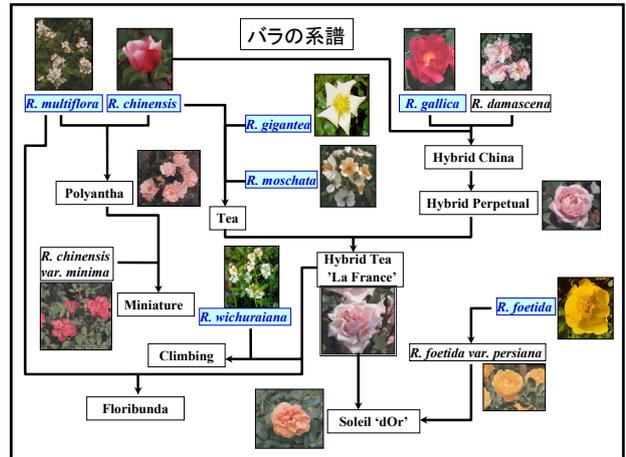
日本の（アジアの）消費者が望んでいるバラとは？

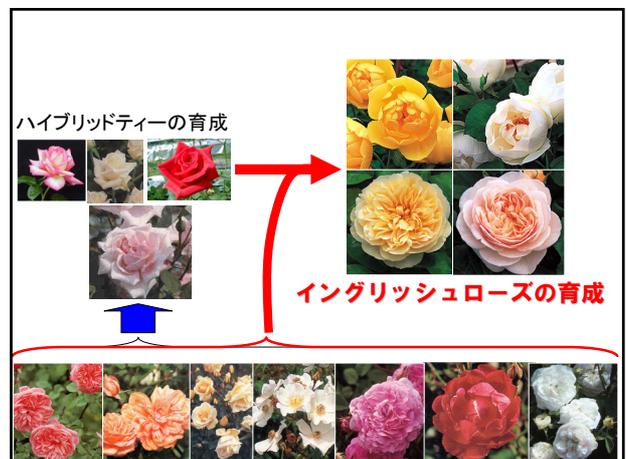
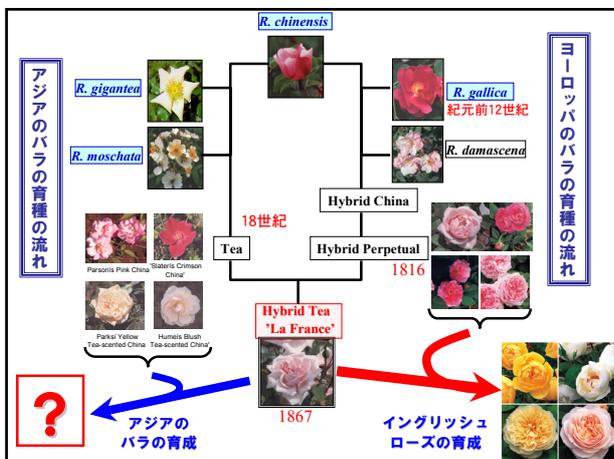
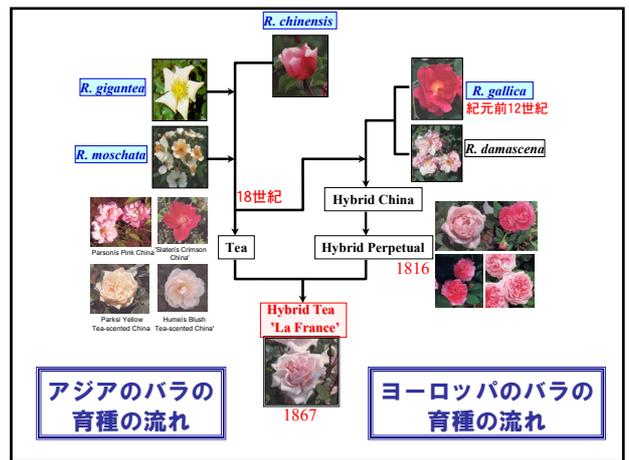
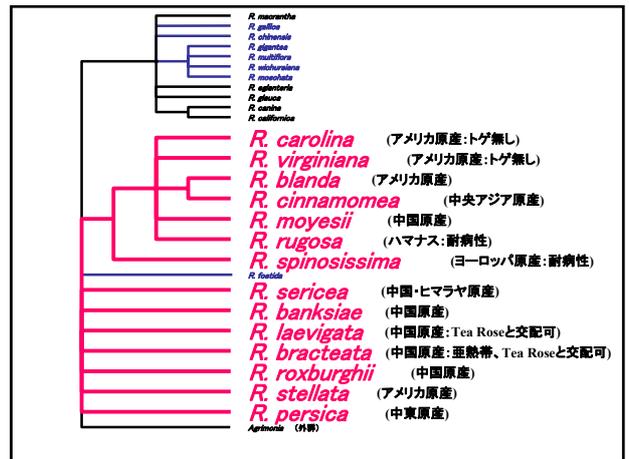
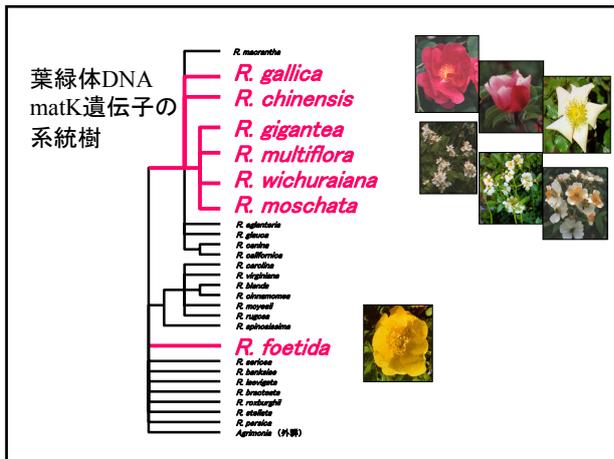
日本の心、アジアの感性を活かした品種
女性性はバラを見ると花に顔を近づける（香りの魅力）



バラの育種の歴史は、 野生バラからの品種改良の歴史

- 🌹 バラの栽培は5000年前に始まったといわれている
- 🌹 中国とヨーロッパで独自に育種が行われた
- 🌹 数千年の歴史のなかで、野生のバラを交配して作られた
- 🌹 世界中に分布する野生種は **146種**
- 🌹 現代バラの育種に使われた野生種は、このうち **7種**である







バラらしくない「バラ」の育成

アジアの感性による育種
(バラの野生種のルーツはアジア)

新しいアジアのバラの世界

中国・上海市の花専門店

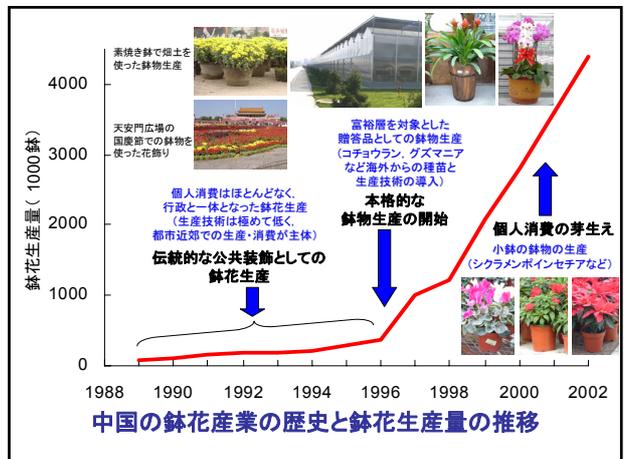
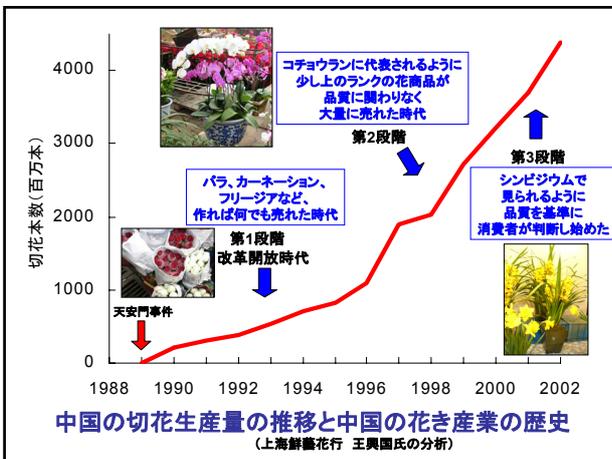
バラは全売り上げの30%を占める。
日本から高品質で新しい品種を輸入したい。
195円(15元)で輸入し、455円(35元)で販売

花束の一般価格は3900円(300元)

- 花束の一般価格は3900円(300元)
- 安いものはむしろ売れない。
- 購入者のほとんどはアレンジされた盛花を購入し、ギフトとして使用
- 自分で花を買って、自分で飾る人は1%程度

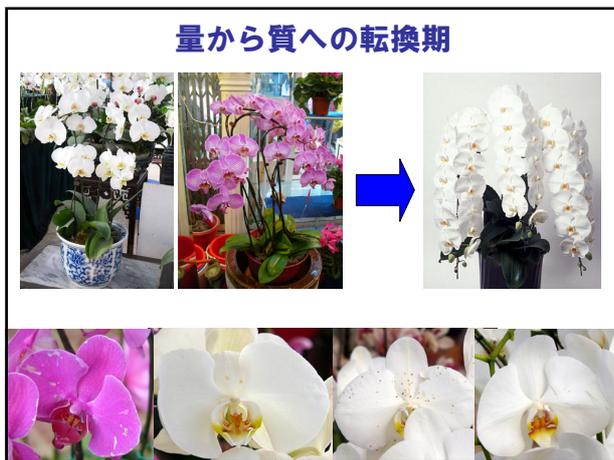
非常感謝廣大新老顧客對我
公司的厚愛與支持，春節期
間訂花已滿，對外暫停營業

- 上海新藝花行での売上げに占めるバラの割合は30%
- 赤:30%、白・ピンク・オレンジ・緑:10~15%
- スプレーバラについても1本25元(325円)で販売





**中国における
コチョウランブームの仕掛け**
 台湾企業 ➡ 苗販売 ➡ 中国国内生産
 ➡ 国内消費市場確立
 ➡ 台湾生産企業進出
コチョウラン = 台湾ブランド



**中国における
シンビジウムブームの仕掛け**
 韓国企業 ➡ 日本から苗導入
 ➡ 中国へ製品輸出
 ➡ 中国国内消費市場確立
 ➡ 韓国生産企業進出



なぜ日本のシンビジウムは売れている？
【新品種と高品質】

上海市内の花卉市場のシンビジウム (韓国産)
【220元】
(3,300円)

上海市内の花卉市場のシンビジウム (河野メルクロン)
【980元】
(14,700円)

全国花き品評会受賞シンビジウム



2004年6月30日 全国一斉発表
サントリーは、世界で初めて「青いバラ」の開発に成功

サントリー株式会社は、フロリジン社と共同で、世界で初めてバイオテクノロジー(遺伝子組み換え技術)を用いた「青いバラ」の開発に成功しました

— 不可能の代名詞“青いバラ”がついに誕生 —

青いカーネーションの親品種 (FE123)

遺伝子組み換えした青いカーネーション

世界初、遺伝子組み換えによる
青いカーネーション『ムーンダスト』
(1995年)



アジアの感性による育種

- ★ 和の心
- ★ 茶花（自然を楽しむ心）
- ★ 侘び、寂び
- ★ あでやかさ（艶やか）



南アメリカ、アフリカ地域の生産国と
アジアの生産国の違い

